

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 3年 6月 23日

公表: 令和 3年 7月 12日

事業所名: チャイルドウィッシュ真伝

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		時間、活動内容等により場所スペースを選別しています。	年齢の違いに見合った環境作りをしていくように考えて支援を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			子ども達の活動を職員で研修や部会を作り共有しながら環境を整えていくように考えています。また、花壇の整備等にも取り組んでいます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		職員が一つ一つの書類作成業務に掛かる時間がかかり過ぎている・一つの業務に取り掛かると他の業務が疎かになってしまっています。タイピング能力の向上・書類作成能力の向上が必要であると考えています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			保護者様向けの評価表によるアンケートを活用し、業務改善に繋げていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		現在は会報などには公開していないので今後は会報などにも公開していく計画です。自己評価等の振り返りについては、職員間で会議にて行っています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		現在は行っていないですが、職員間での内部監査を毎月行い、業務改善に努めています。第三者評価による外部評価の必要性を感じています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	毎月勉強ができる機会があり、また日々業務の中でもアドバイスをいただいています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		以前のデータが保存してあるため、変化やニーズが分かりやすいです。	様々な方面からの視点を取り入れたアセスメントを使用しています。今後も課題を客観的に分析した上で計画書を作成出来る様に、職員が統一した認識を持つようにしていきたいと思います。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			日々毎に学習課題や巧緻性を向上させる課題を用意したり、レクリエーションや事業所内の活動の中でプログラムが固定化しないように、計画書を基にお子様一人一人の様々な角度から支援をしていく事を目標としています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7				

関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			常勤・非常勤職員の中で明確に役割分担をし、より良い支援に繋げていく事を目標としています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		時間と場を設けているわけではないが、当日活動の共有情報の交換は出来ています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			職員の主観ではなく計画書に添った支援内容を客観的に記録するように努めています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			毎月の月間連絡帳を通じて計画書の内容のモニタリングをし必要に応じて計画の見直しに努めています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			今後は決まった職員だけでなく全員が参加出来るようにしていきたいと考えています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	2		今は医療ケア児がいないので、受け入れた場合は連携の取れる体制を整えていきたいと考えています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	2		現在受け入れはしていませんが、今後検討していかなくては、と考えています
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	3		保護者様を通して情報提供をお願いしていますが、今後はより相互理解に深めていかななくてはと考えています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	情報共有は日々の中で実行することが出来ています。	現在、該当者はいませんが今後該当者が存在した時には、保護者様の許可を得てから情報を共有する等していく予定です。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		通信を通し、視覚学習支援センターで学んだことを日々の療育活動の中に取り入れたり、指示を仰いでいます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	5		現在コロナ禍の為に難しいですが、今後機会があれば交流していきたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時に母親とは共通理解を深めていますが、父親にお会いする機会が少ないので、今後家族会などを企画し、お会いする機会を増やしていかなくては、と考えています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6			ペアレント・トレーニングの知識を深く習得出来る様に研修を行っていますが、職員全員が同じ様な知識を習得出来るまでに至っていないので、今後研修の回数を重ねていかなくては、と考えています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時にご説明をすると共に事業所内で重要書類を提示して行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			毎回書面を見せながら口頭で説明をしています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			様々な制度や福祉事業所などについて今後も会報を通して伝えていくように、職員全体が知識を深めなくては、と考えています。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		9月、10月にママ会を開催予定です。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			送迎時や懇談会にも相談に応じていますが、ママ会などの保護者様が参加出来る会を企画し、子育ての不安を軽減していきたいと思います。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			様々な制度や福祉事業所などについて今後も会報を通して伝えていくように、職員全体が知識を深めなくては、と考えています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			書庫数に限りがある為、今後増やしていかなくてはと思います。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			手話などの意思伝達方法の取得を事業所全体で取り扱っていきたくと考えています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		現在は散歩をしている最中などに地域に方達と挨拶を交わすぐらいなので、今後は開かれた事業所運営を目指していきたいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	2	指針に基づいた机上訓練計画等 出来る所から始めています。	残念ながら保護者様に周知徹底とまでは至っていない現状である為、今後はマニュアルを再整備し周知徹底していきたい、
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	2		火災災害以外にも変質者対策なども今後取り入れていく必要があると考えています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		個別にファイリングがしてあり、分かりやすくなっています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	個人情報の共有から支援まで実施できています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2	職員研修と繋げて考えることによって、評価、改善に繋げていけるようにしています。	ファイリングはしてありますが、読む事が出来ないの周知徹底していきたいと思います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	どの様な行為が虐待にあたるのかを説明してもらっています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	1		重要事項説明書には記載がありますが、計画書には記載していないので、今後は記載していくように検討していきたいと考えています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。